

閣
第一八六号

起案

令和三年九月十七日

決定	上奏
令和三年九月二十一日	令和三年九月二十一日

施行	公布
令和三年九月二十一日	令和三年九月二十一日

内閣総理大臣

五

内閣官房長官

五

内閣官房副長官

岸 直

内閣総務官

大

内閣法制局長官

印

麻生 国務大臣

五

田村 国務大臣

五

岸 国務大臣

五

坂本 国務大臣

五

武田 国務大臣

五

野上 国務大臣

五

井上 国務大臣

五

西村 国務大臣

五

上川 国務大臣

五

梶山 国務大臣

五

棚橋 国務大臣

五

平井 国務大臣

五

茂木 国務大臣

五

赤羽 国務大臣

五

加藤 国務大臣

五

平沢 国務大臣

五

萩生田 国務大臣

五

小泉 国務大臣

五

河野 国務大臣

五

丸川 国務大臣

五

臨時国会召集要求書に関し、衆・参両院議長等へ通知することについて

右閣議に供します。

内閣

案（一）

令和三年 月 日

内閣総理大臣

衆議院議長 宛て

政府は、当面の諸案件の審議を求めするため、来る十月四日に、臨時国会を召集することを決定いたしましたから、よろしくお取り計らい願います。

なお、本年七月十六日衆院発第二三号をもって送付のあつた臨時国会召集要求書に対しては、本日、貴院議員安住 淳君外百三十五名の代表者安住 淳君、穀田恵二君、古川元久君、照屋寛徳君宛て別紙書面を送付しましたので、お含みおき願います。

案（二）

令和三年 月 日

内閣総理大臣

参議院議長 宛て

政府は、当面の諸案件の審議を求めするため、来る十月四日に、臨時国会を召集することを決定いたしましたから、よろしくお取り計らい願います。

案（三）

令和三年 月 日

内閣官房長官

衆議院議員 安住 淳

衆議院議員 穀 田 恵 二

衆議院議員 古 川 元 久

衆議院議員 照 屋 寛 徳

宛て（連名）

さきに、貴殿方を代表とする安住 淳君外百三十五名の方々から衆議院議長を經由して内閣総理大臣宛て臨時国会の召集要求書の提出がありました。が、政府は、来る十月四日に、臨時国会を召集することを決定いたしましたから、御

了承願います。

今十六日、本院議員安住淳君外百三十五名より臨時国会召集要求書が提出されたので
これを送付いたします。

令和三年七月十六日

衆議院議長 大島 理 森



内閣総理大臣 菅 義 偉 殿

衆 議 院

衆議院事務総長 岡田 憲 治



臨時国会召集要求書

安倍前内閣同様、菅内閣は、新型コロナウイルス感染症への対応で失策を重ね続けている。

昨年一月、わが国で初めて感染者が確認されたが、本格的な対策を検討し始めるまでに一か月間もの貴重な時間を空費するなど、初動対応を完全に誤った。その後も「アベノマスク」や「G.O.T.O.キャンベーン」に象徴される的外れ、非科学的、後手後手、支離滅裂、朝令暮改の対応に終始、緊急事態宣言とその解除を何度も繰り返し繰り返す事態に陥った。この結果、多くの国民が、十分な補償もないままに生活、事業などあらゆる面で不自由を強いられ、生活に困窮し、事業継続を断念する事態に追い込まれた。

このような中、政府与党は、われわれの会期延長の申し入れを黙殺し、通常国会を開会した。その後発覚したのが、政府が、酒の提供を続ける飲食店について、金融機関による働きかけや酒類販売業者への取引停止を要請するという、どきどき紛れの不当な行政指導である。政府が自ら、優越的地位を濫用した圧力行使を呼びかけるのは、法治国家としての根幹をも揺るがす暴挙と言わなければならない。

そして今、国民の不安をよそに、東京二〇二〇オリンピック競技大会の開催が強行されようとしている。すでに各方面から、大会の新型コロナウイルス感染症対策には大きな不備があるとの指摘があり、このまま開催が強行されれば、重大な結果を招きかねない。

新型コロナウイルス感染症に対し、国民が一丸となって立ち向かっていくためには、国権の最高機関である国会を召集し、国民の英知を結集させるしかない。加えて、各地で頻発する豪雨災害に対応するためにも、臨時国会の早期召集は不可欠である。

よってここに、日本国憲法第五十三条に基づき、立憲民主党、日本共産党、国民民主党及び社会民主党は、衆議院議員百三十六名の連名により、速やかに臨時国会を召集するよう強く求める。菅内閣は、憲法五十三条に基づく臨時国会召集について、「内閣には合理的期間内に召集する法的義務がある」との最近の判決も重く受け止め、責任ある対応を取らねばならない。

令和三年七月十六日

安住淳外百三十五名

代表者

安住



穀田

恵二



古川

元久



照屋

寛徳

内閣総理大臣

菅 義偉 殿

安住 淳	荒井 聰	稲富 修二	小川 淳也	大串 博志	岡田 克也	海江田 万里	川内 博史	黒岩 宇洋	近藤 和也	櫻井 周	下条 みつ	高木 鍊太郎	寺田 学	中村 喜四郎	長谷川 嘉一	福田 昭夫	牧 義夫	松原 仁	森田 俊和	山内 康一	山花 郁夫	吉田 統彦	赤嶺 政賢	塩川 鉄也	宮本 徹	浅野 哲	中山 成彬
阿久津 幸彦	伊藤 俊輔	今井 雅人	小熊 慎司	大島 敦	岡本 あき子	柿沢 未途	菅 直人	玄葉 光一郎	近藤 昭一	重徳 和彦	白石 洋一	武内 則男	照屋 寛徳	長尾 秀樹	原口 一博	古本 伸一郎	松尾 明弘	道下 大樹	森山 浩行	山岡 達丸	山本 和嘉子	笠 浩史	笠井 亮	田村 貴昭	本村 伸子	井上 一徳	西岡 秀子
阿部 知子	池田 真紀	生方 幸夫	小沢 一郎	大西 健介	岡本 充功	金子 恵美	吉良 州司	源馬 謙太郎	佐々木 隆博	階 猛	末松 義規	津村 啓介	中川 正春	長妻 昭	日吉 雄太	堀越 啓仁	松木 けんこう	緑川 貴士	矢上 雅義	山川 百合子	柚木 道義	早稲田 夕季	穀田 恵二	高橋 千鶴子	岸本 周平	古川 元久	
青柳 陽一郎	石川 香織	江田 憲司	尾辻 かな子	逢坂 誠二	奥野 総一郎	神谷 裕	城井 崇	小宮 山泰子	佐藤 公治	篠原 豪	関 健一郎	辻元 清美	中島 克仁	西村 智奈美	平野 博文	本多 平直	松田 功	宮川 伸	谷川 元	山崎 誠	横光 克彦	渡辺 周	志位 和夫	畑野 君枝	高井 崇志	前原 誠司	
青山 健太	泉 幸男	枝野 雅子	大河 原正	岡島 一	落合 貴之	亀井 亜紀子	菊田 真紀子	後藤 祐一	斎木 武志	篠原 孝	田嶋 要	手塚 仁雄	中谷 一馬	野田 佳彦	広田 一	馬淵 澄夫	松平 浩一	村上 史好	屋良 朝博	山井 和則	吉川 元	清水 忠史	藤野 保史	玉木 雄一郎	山尾 志桜里		

◎ 参照条文

○ 日本国憲法（抄）

第五十三条 内閣は、国会の臨時会の召集を決定することができる。いづれかの議院の総議員の四分の一以上の要求があれば、内閣は、その召集を決定しなければならない。

○ 国会法（抄）

第三条 臨時会の召集の決定を要求するには、いづれかの議院の総議員の四分の一以上の議員が連名で、議長を経由して内閣に要求書を提出しなければならない。